

公益財団法人十四世六平太記念財団 令和元年度普及啓発事業  
武蔵野大学文学部 日本文学研究所・武蔵野文学館 土岐善麿記念公開講座特別公演

# 能

# と土岐善麿

とき

ぜんまろ

# 能の術を観る

ひでひら

二令和  
二年

## 2.18<sup>火</sup>

14:00開演/13:00開場

全席自由 ¥2,000-

十四世喜多六平太記念能楽堂  
(喜多能楽堂)

題字：「考庵」喜多海野 写真：喜多実  
撮影：増田正雄（武蔵野大学名誉教授）

のう とき ぜんまる ひてひら み  
能と土岐善麿「秀衡」を観る

歌人・国文学者、土岐善麿(1885-1980)は、武蔵野大学(旧武蔵野女子大学)文学部の初代主任教授として教壇に立つほか、能楽資料センターの設立に顧問として尽力しました。一方では喜多流の能を学びながら、十五世宗家喜多実との協働によって多くの能を作った新作能のバイオニアでもあります。武蔵野大学文学部との共催によってこれまで「実朝」、「鶴」、「夢殿」、「青衣女人」を上演してきましたが、シリーズ第5回目となる今回も土岐善麿の新作能レパートリーから要望の高かった「秀衡」を上演いたします。講演や解説も合わせて、喜多流と武蔵野大学を結び付けた土岐善麿の業績をあらためてふりかえります。



プログラム

【第1部】14:00

- ◎ ごあいさつ  
落合貴代子 (武蔵野大学同窓会むらさき会会長)
  - ◎ 講演「土岐善麿と校歌」  
土屋忍 (日本文学研究所長・武蔵野文学館長・武蔵野大学文学部教授)
  - ◎ 講演「新作能と古典の能と」  
リチャード・エマート (武蔵野大学文学部特任教授)
  - ◎ 講演「土岐善麿と日本語」  
中川秀太 (武蔵野大学文学部非常勤講師)
- 進行  
岩城賢太郎 (武蔵野大学文学部准教授)

【休憩】

【第2部】15:45 (予定)

- ◎ 本日の演目の解説  
三浦裕子 (武蔵野大学文学部教授・能楽資料センター長)
- ◎ 能「秀衡」  
— あらすじ —  
源義経は平氏討伐の後、兄頼朝に疎まれ縁のある奥州平泉にひそかに逃れた。桜散る春の夜半、西城戸の館の侍女が義経をよびとめ奥州藤原一門の栄華を語る。酔いふした義経は侍女に命を狙われるが弁慶によって危機を免れ、弁慶は平泉を去ることをすすめる。義経が秀衡の恩顧をしのび、金色堂で表白文をよみ一心に祈ると堂内は燦然と輝き棺から秀衡が現れる。秀衡は三代の栄華は思いきり、義経の行く末に幸あれと祈るのだった。

シテ (前・西城戸の館の侍女/後・秀衡[霊]) 佐々木多門

- シテツレ (義経) 大島輝久
- ワキ (弁慶) 舘田善博
- ワキツレ (金色院住僧) 則久英志
- ワキツレ (従僧) 梅村昌功
- アイ (堂守) 野村萬斎
- 笛 藤田貴寛
- 小鼓 森澤勇司
- 大鼓 柿原光博
- 太鼓 大川典良
- 地謡 長島茂 狩野了一 友枝雄人  
内田成信 金子敬一郎 友枝真也  
塩津圭介 佐藤寛泰
- 後見 塩津哲生 粟谷浩之

(17:15 頃終演予定)

日時

令和2年2月18日(火) 14:00開演 (13:00開場)

※公演当日能楽堂ロビーにて、土岐善麿関連の資料 (新作能・校歌)の展示があります。

チケット

全席自由 ¥2,000-

お申込み/お問合せ

◎ 喜多能楽堂

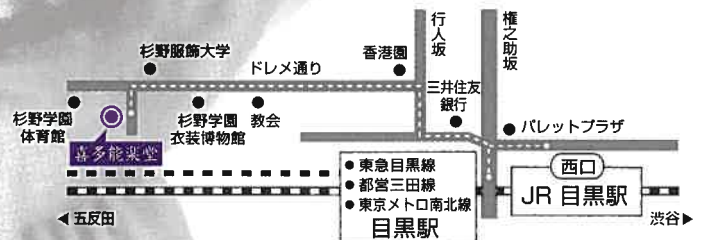
TEL 03-3491-8813 (10:00~18:00)

ホームページ <http://kita-noh.com/> (要事前登録・無料)

※ご予約のチケットをコンビニでお受け取りの場合は別途発券手数料がかかります。

会場

十四世喜多六平太記念能楽堂 (喜多能楽堂)



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

